令和八年十一月四日　知事表彰（高知県表彰規則）

高知県功労者表彰事績概要

高　知　県

被表彰者一覧

（各部門年齢順）

地方自治関係　濵田陸紀……1
同　川村一朗……2
商工業関係　土居愛明……3
農林業関係　櫻井孝志……4
建設業関係　三谷勝水……5
社会福祉関係　田村輝雄……6
同　松本十三子……7
同　岩﨑千代喜……8
同　福留久美……9
保健衛生関係　依光聖一……10
同　藤原房子……11
同　川西孝和……12
同　清岡学……13
災害防除関係　森田信浩……14



（地方自治関係）

宿毛市中央五丁目

濱田（はまだ） 陸紀（ちかのり）

八十四歳

閲歴

宿毛市議会議員　（二十八年）
宿毛市議会副議長　（二年）
宿毛市議会産業建設常任委員会委員長　（一年）
宿毛市議会産業厚生常任委員会委員長　（一年）
四国西南空港建設推進特別委員会委員長　（二年）
真丁商店街振興組合理事長　（二十五年十月）
真丁商店街振興会会長　（三年二月）
高知県商店街振興組合連合会理事　（七年十一月）

事績

多年市議会議員として、地域の産業振興、公共の福祉の増進等地方自治の発展に寄与した功績は大きい。

この間、副議長として、議会の円滑な運営に尽力するとともに、産業建設常任委員会委員長及び産業厚生常任委員会委員長として、農林水産業の振興対策状況や市道の管理状況、都市計画事業の推進状況などの調査に尽力し、地域の振興発展に寄与した功績は顕著である。

また、四国西南空港建設推進特別委員会委員長等として、四国西南空港の建設実現に向けて、調査研究や関係機関への要望活動に積極的に取り組み、宿毛市における交通インフラ整備を推進する体制の構築に寄与した。

さらに、真丁商店街振興組合理事長及び高知県商店街振興組合連合会理事として、商店街の老朽化したアーケードの撤去などの環境整備や販売促進に努め、地域商業の振興に寄与した功績も大きい。



（地方自治関係）

四万十市西土佐江川崎

川村 一朗

七十一歳

閲歴

西土佐村議会議員	（十八年）
四万十市議会議員	（十七年一月）
西土佐村議会広報委員長	（一年）
西土佐村議会調査研究特別委員長	（三年）
四万十市議会総務常任委員会委員長	（一年）
四万十市議会産業建設常任委員会委員長	（一年十一月）
四万十市議会防災対策特別委員会委員	（一年六月）
四万十市都市計画審議会委員	（三年十月）

事績

多年村・市の議会議員として、地域の産業振興、公共の福祉の増進等地方自治の発展に寄与した功績は大きい。

この間、産業建設常任委員会委員長等として、市道補修や橋梁改修など住民生活に密着した基盤整備の推進に尽力するとともに、獣害対策の強化、高知県立中村高等学校西土佐分校の存続及び西土佐診療所の医師体制の維持など、過疎地域における産業・教育・医療環境の確保に粘り強く取り組み、地域の発展と活性化に寄与した功績は顕著である。

また、防災対策特別委員会委員として、被災地視察や地震・津波・風水害対策の調査研究を重ね、市の最重要課題であった南海トラフ地震対策及び豪雨災害対策に尽力するなど、災害リスクに強いまちづくりの推進に貢献した。

さらに、総務常任委員会委員長として、市民が安全で安心して暮らすことのできるまちづくりに向けた行財政運営の審議を重ねるなど、市民生活の向上や市政の発展に寄与した功績も大きい。



（商工業関係）

四万十市中村大橋通四丁目

土居　愛明

七十一歳

閲　歴

（現）四万十市商店街振興組合連合会理事・代表理事（二十九年五月）
（現）中村大橋通商店街振興組合理事・代表理事（二十九年五月）
（現）高知県商店街振興組合連合会副理事長（十九年五月）
（現）中村商工会議所議員・常議員（二十八年七月）
（現）どい時計店（四十六年二月）

事　績

多年企業経営に精励するとともに、商店街関係団体の要職を歴任し、地域商業の振興発展に寄与した功績は大きい。

特に、四万十市商店街振興組合連合会代表理事等として、四万十市プレミアム付き商品券「ざまにえいけん」の事業を主導し、消費者の購買意欲の喚起や消費拡大、中心市街地への誘客促進に寄与するなど、地域の商業活性化に貢献した功績は顕著である。

また、まちの駅「え～あんばい」の開設やチャレンジショップ事業に尽力し、商店街のにぎわい創出に貢献するとともに、路面と側溝の再整備や街灯の整備を行う「祇園風街並整備事業」を商店街のとりまとめ役として推進し、市内商店街の景観形成の向上に寄与した。

さらに、高知県商店街振興組合連合会副理事長として、組織運営の円滑化に努めるとともに、高知市内商店街振興組合との交流会の運営を担い、商店街関係者の交流や情報交換を促進するなど、県内商店街の振興に尽力した功績も大きい。

高知市介良乙

櫻井（さくらい）　孝志（たかし）

八十一歳



（農林業関係）

閲歴

高知大学農学部講師・助教授・准教授　（二十三年）
高知大学教育研究部自然科学系農学部門
准教授（一年）
公益社団法人全国和牛登録協会中央審査委員（二十六年）
（現）一般社団法人高知県畜産協会
非常勤畜産コンサルタント（十七年七月）

事績

多年大学准教授等として、土佐あかうしの生産振興に尽力し、本県畜産業の発展に寄与した功績は大きい。

特に、高知大学において、土佐あかうしの品種改良や種雄牛の能力評価に関する研究に長年取り組み、優れた遺伝的能力を持つ種雄牛の選抜に尽力するとともに、研究成果を生産現場に普及し、肉質向上や農家の収益性向上に貢献するなど、土佐あかうしの改良及び生産性向上に寄与した功績は顕著である。

また、全国和牛登録協会の本県唯一の中央審査委員として、土佐あかうしに関する品種改良の指針づくりに貢献するとともに、全国和牛能力共進会への土佐あかうしの出品指導に尽力し、特別賞の受賞につなげるなど、本県肉用牛の振興に寄与した。

さらに、高知県畜産協会の非常勤畜産コンサルタントとして、県内畜産農家への技術指導や土佐あかうしの改良に関する助言を行うなど、本県畜産業を支える後進の育成に尽力した功績も大きい。

高知市朝倉丙

三谷勝水（みたにまさみ）

七十五歳



（建設業関係）

閲歴

（現）ミタニ建設工業株式会社
　取締役・代表取締役・
　代表取締役社長・代表取締役会長（四十八年七月）
（現）一般社団法人高知県建設業協会
　常任理事・理事（十四年五月）
（現）一般社団法人高知県建設業協会
　総務委員会副委員長・委員長（十六年三月）
（現）高知県建設業協会高知支部理事・副支部長（十六年七月）
（現）高知地区建設業協会理事・副会長（二十四年六月）

事績

多年建設業に精励するとともに、建設業関係団体の要職を歴任し、建設業界の振興発展に寄与した功績は大きい。

特に、ミタニ建設工業株式会社の代表取締役会長等として、狭隘かつ高低差のある地形での難易度の高い道路改良工事において、複雑な地形に適した工法を採用することで、厳しい現場条件を克服し、事故を未然に防ぐとともに、卓越した技術力により工期短縮を図るなど、本県のインフラ整備に寄与した功績は顕著である。

また、高知県建設業協会総務委員会委員長等として、「こうち防災フェスタ」の開催に尽力し、災害発生時の建設業者の役割を広くＰＲするとともに、ミニパワーショベル体験や測量体験といった建設業を身近に感じてもらう企画を行うなど、人材確保につながる取組を通じて、業界の健全な発展に大きく貢献した。

さらに、地域の街頭指導や防犯パトロールといったボランティア活動に取り組むとともに、小中学校での出前授業を実施するなど、社会貢献活動及び担い手の確保に尽力した功績も大きい。

高岡郡佐川町甲

田村輝雄（たむらてるお）

八十八歳



（社会福祉関係）

閲歴

社会福祉法人さくら福祉事業会
　施設長・理事・理事長（三十九年四月）
高知県身体障害者（児）施設協会理事（二十三年）
高知県社会福祉施設経営者協議会理事（十六年）
中国・四国社会就労センター協議会会長（二十一年六月）
全国社会就労センター協議会常任協議員（二十一年六月）

事績

多年障害福祉事業に精励し、社会福祉法人及び高知県身体障害者（児）施設協会等の要職を歴任し、社会福祉の向上に貢献した功績は大きい。

特に、自身の土地を無償で譲渡し、寄付を呼びかけて社会福祉法人さくら福祉事業会を設立するとともに、身体障害者通所授産施設さくら福祉事業所を開設し、一般企業等での就労が困難な人に就労機会を提供するなど、障害者の就労の場の確保や社会参加への支援に尽力した功績は顕著である。

また、県内初の身体障害者デイサービスセンターさくらんぼを開設し、当時県内に十分なサービスがなかった身体障害者のための通所の場を整備するなど、障害者福祉サービスの先駆的な取組に尽力した。

さらに、全国社会就労センター協議会等の役員として、高知県の障害者や施設の職員からの意見、要望を収集し、全国に発信するとともに、全国の新しい情報をいち早く県内の関係団体に共有するなど、全国との橋渡し役として尽力した功績も大きい。

室戸市室津

松本 十三子（まつもと とみこ）

七十九歳



（社会福祉関係）

閲歴

（現）室戸市民生委員・児童委員　（二十一年十一月）
（現）室戸市民生委員児童委員協議会理事・会長　（九年十一月）
（現）室戸地区民生委員児童委員協議会会長　（九年十一月）
（現）高知県民生委員児童委員協議会連合会副会長（三年十月）
（現）室戸市社会福祉協議会評議員・理事　（九年七月）
（現）特定非営利活動法人ぐりーと監事・相談役　（十三年八月）

事績

多年民生委員・児童委員を務めるとともに、関係団体の要職に就き、組織運営や活動の充実に努めるなど、社会福祉の推進及び地域福祉の向上に寄与した功績は大きい。

特に、室戸市民生委員・児童委員として、毎日の地区見回りや声掛け、相談対応などの継続的に地域住民に寄り添った支援のほか、担当地区の環境美化に率先して取り組むとともに、社会福祉協議会等との連携に努め、地域住民に必要な支援が行き届くような体制を構築するなど、地域福祉の推進に貢献した功績は顕著である。

また、室戸市民生委員児童委員協議会会長等として、円滑な組織運営に尽力するとともに、災害時の対応について安芸市の協議会との合同研修を実施し、委員の災害への意識向上に努めるなど、地域住民が安心して暮らすことのできる地域づくりに寄与した。

さらに、高知県民生委員児童委員協議会連合会副会長として、委員の資質向上に向けた指導のほか、運営に関する助言を行うなど、後進の育成に尽力した功績も大きい。

高岡郡四万十町家地川

岩崎千代喜（いわさきちよき）

七十五歳



（社会福祉関係）

閲　歴

（現）四万十町野地・家地川地区
民生委員・児童委員（三十年十一月）
（現）四万十町窪川地区民生委員児童委員協議会
副会長・会長（十九年十一月）
（現）高知県民生委員児童委員協議会連合会理事　（十月）

事　績

多年民生委員・児童委員を務めるとともに、関係団体の要職に就き、組織運営や活動の充実に努めるなど、社会福祉の推進及び地域福祉の向上に寄与した功績は大きい。

特に、四万十町野地・家地川地区民生委員・児童委員として、担当地区の見回りや訪問活動など、継続的な支援を行うとともに、防災拠点となる家地川集落活動センターでの避難訓練に参加して住民の防災意識向上に寄与するなど、地域福祉の充実に尽力した功績は顕著である。

また、四万十町窪川地区民生委員児童委員協議会会長等として、委員の指導育成に力を注ぐとともに、行政や社会福祉協議会などの関係機関との連携強化に尽力し、地域の実情に応じた柔軟な支援や対応ができる体制づくりに寄与した。

さらに、高知県民生委員児童委員協議会連合会理事として、県内の委員が活動しやすい環境の整備に向けて、各種会議等で提案や助言を行うなど、本県における地域福祉の推進に尽力した功績も大きい。



（社会福祉関係）

幡多郡黒潮町馬荷

福留（ふくどめ） 久美（くみ）

六十一歳

閲　歴

（現）社会福祉法人栄光会若草園
　保育士・主任保育士・
　主任保育士兼家庭支援専門相談員・
　副施設長・施設長　（三十年五月）
高知県児童養護施設協議会副会長・会長　（八年）
高知県児童福祉審議会委員　（二年一月）

事　績

多年児童養護施設等の職員として、業務に精励するとともに、児童福祉の向上に寄与した功績は大きい。

特に、児童養護施設「若草園」の施設長等として、長年にわたり入所児童一人ひとりに寄り添った養育に尽力するとともに、家庭的養育を基盤とした生活の保障に力を注ぎ、施設の小規模化・地域分散化を推進するなど、子どもたちの安定した養育環境の確保に寄与した功績は顕著である。

また、高知県児童養護施設協議会会長等として、児童養護施設を取り巻く課題の解決に取り組むとともに、低迷していた専門職部会の活動を自ら立て直して活性化を図り、施設職員の情報共有や研鑽の場を充実させるなど、県内の児童養護施設の支援体制の充実に寄与した。

さらに、高知県児童福祉審議会委員として、長年の現場経験と専門的な知見を活かし、子どもの最善の利益を最重要視して中立かつ客観的な立場から提言を行うなど、県内の社会的養護下にある子どもたちに対する適切な支援の保障に寄与した功績も大きい。

高知市西秦泉寺

依光 聖一（よりみつ せいいち）

七十八歳



（保健衛生関係）

閲歴

依光内科クリニック院長　（二十三年一月）
（現）高知県骨髄バンク推進協議会
理事・会長・顧問（三十四年四月）
高知黒潮ライオンズクラブ理事・副会長・会長（十二年）
高知県立中央病院
内科医長・内科部長・副診療部長（十四年三月）

事績

多年医師として、地域住民の診療に精励するとともに、関係団体の要職を歴任し、地域医療と保健衛生の向上に寄与した功績は大きい。

特に、高知県骨髄バンク推進協議会会長等として、高知県内における骨髄移植の普及啓発及びドナー登録の推進に先陣を切って取り組み、ドナー登録者数を大幅に増加させるなど、高知県の骨髄移植の普及に貢献した功績は顕著である。

また、高知黒潮ライオンズクラブ会長等として、骨髄移植ドナーの負担を軽減するため、骨髄提供者への助成を目的とした「高知黒潮ライオンズクラブ骨髄・末梢血幹細胞提供ドナー基金」を民間団体として全国に先駆けて創設するとともに、高知県をはじめ県内市町村にも同様の支援制度を導入するよう働きかけ、ドナーが骨髄を提供しやすい環境整備に大きく貢献した。

さらに、依光内科クリニック院長として、地域住民に良質な医療を提供するとともに、多くの血液難病の患者の治療に携わるなど、地域医療の充実に貢献した功績も大きい。

高知市東秦泉寺

藤原房子（ふじはらふさこ）

七十一歳



（保健衛生関係）

閲歴

公益社団法人高知県看護協会
　常任理事・専務理事・会長（九年）
公益社団法人日本看護協会地区理事（六年）
高知市立市民病院看護師・主任看護師（十年十一月）
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
　看護副科長・看護科長・看護局次長（十一年一月）
高知県医療審議会委員（五年十一月）
高知県周産期医療協議会委員（五年十一月）
高知県の看護を考える検討委員会委員（五年十一月）
高知県災害医療対策会議委員（五年十月）
高知県少子対策県民会議委員（五年十月）
高知県社会福祉審議会委員（五年九月）

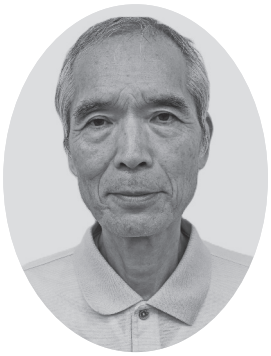
事績

多年看護師として、職務に精励するとともに、関係団体の要職を歴任し、保健衛生の向上に寄与した功績は大きい。

特に、高知県看護協会会長等として、看護人材の確保に取り組み、特に新型コロナウイルス感染拡大時においては、ワクチンの集団接種を行うため、高知市内の医療機関へ看護人材の派遣の調整を行うなど、感染症対策に尽力した功績は顕著である。

また、保健師・助産師・看護師の連携を目的とした事例検討会を実施し、地域における看護職間ネットワークの基盤づくりに取り組むなど、地域包括ケアシステムの構築及び各看護職間の連携強化に貢献した。

さらに、「3職能生きる力を育むいのちの教育検討委員会」を新たに立ち上げ、保健師・助産師・看護師の3職能がそれぞれの強みを生かした「いのちの教育」についての検討を開始するとともに、看護職の働きやすい職場環境づくりや、災害支援ナースの育成にも尽力するなど、看護職の看護の質向上及び県民サービスの向上に貢献した功績も大きい。



（保健衛生関係）

室戸市浮津

川西孝和（かわにしたかかず）

七十歳

閲歴

むろとぴあ医院院長　（二十九年）
（現）一般社団法人安芸郡医師会　理事・副会長・会長（二十二年七月）
（現）一般社団法人高知県医師会理事　（六年五月）
（現）高知県立室戸高等学校・同定時制高等学校医（三十年七月）
（現）室戸市立室戸小学校学校医　（三十年七月）
（現）室戸市立室戸中学校学校医　（二十年七月）
（現）特別療養老人ホームセーラムむろと産業医　（十九年七月）
（現）室戸警察署産業医　（十七年七月）
（現）株式会社泉井鐵工所産業医　（十二年七月）
（現）サンシャイン室戸産業医　（七年三月）
（現）株式会社山崎機械製作所室戸工場産業医　（七年三月）

事績

多年医師として、地域住民の診療に精励するとともに、関係団体の要職を歴任し、地域医療と保健衛生の向上に寄与した功績は大きい。

特に、安芸郡医師会会長等として、安芸保健医療圏において、地域住民の生活習慣病予防、健康寿命の延伸、高齢者の見守り体制の構築などを推進するとともに、基幹病院である県立あき総合病院と地域の開業医やクリニック、後方支援病院との役割分担のほか、在宅医療の推進に向けた調整に尽力するなど、本県の地域医療提供体制の向上に貢献した功績は顕著である。

また、むろとぴあ医院院長として、地域住民の健康管理等保健衛生活動の向上に取り組み、地域住民の健康増進、病気の予防に大きく貢献した。

さらに、地域の学校の学校医として、児童、生徒の健康管理に尽力するとともに、産業医として、複数の事業所において、労働者が心身ともに健康に働ける環境の維持に尽力し、室戸・安芸地域における生涯にわたる健康づくりに貢献した功績も大きい。



（保健衛生関係）

高知市五台山

清岡 きよおか 学 まなぶ

六十六歳

閲歴

医療法人野並会高知病院理学療法士　（二十三年一月）
公益社団法人高知県理学療法士協会
　理事・副会長（十九年十月）
公益社団法人日本理学療法士協会代議員　（十九年十月）
医療法人野並会介護老人保健施設あいおい
　副施設長（三年二月）
高知リハビリテーション学院理学療法学科
　教授（六年九月）
高知リハビリテーション専門職大学
　理学療法学専攻講師（四年）
土佐市地域創生有識者会議委員　（六年三月）

事績

多年理学療法士として、職務に精励するとともに、関係団体の要職を歴任し、保健衛生の向上に寄与した功績は大きい。

特に、高知県理学療法士協会副会長等として、診療報酬及び介護報酬の改定時には、会員への制度の周知や適正な請求に向けた指導を行うとともに、災害時における県民へのリハビリテーション支援体制構築のため高知県災害時リハビリテーション連絡協議会の立ち上げに尽力するなど、本県における理学療法の発展に貢献した功績は顕著である。

また、医療法人野並会高知病院の理学療法士として、長年にわたり患者に理学療法を提供し、患者の心身の健康回復に貢献するとともに、県内初となる災害リハビリテーションコーディネーターとして、県内の医療従事者に発災後の対応や避難所運営の方法等を指導し、災害医療の強化に大きく貢献した。

さらに、高知リハビリテーション学院の教員として、理学療法士養成に尽力するとともに、土佐市地域創生有識者会議委員として、医療専門職の見地から人口減少対策や交流人口の増加に貢献した功績も大きい。



（災害防除関係）

南国市岡豊町八幡

森田信浩（もりたのぶひろ）

六十三歳

閲歴

南国市消防団岡豊分団八幡班団員　（二十年十一月）
南国市消防団岡豊分団八幡班班長　（三年）
南国市消防団岡豊分団八幡班部長　（二年三月）
南国市消防団岡豊分団副分団長　（一年）
南国市消防団岡豊分団分団長　（九年九月）
（現）南国市消防団副団長　（三年一月）

事績

多年消防団副団長等として、消防活動に精励するとともに、消防団の充実強化に尽力し、災害防除に寄与した功績は大きい。

特に、令和元年7月の住宅火災では、多年にわたる豊富な経験と適切な判断力により、部下団員に放水準備と後着消防車の水利への誘導を命じるとともに、自らは居住者の避難や延焼防止のための消火活動に尽力し、被害を最小限にとどめた功績は顕著である。

また、平成10年9月の高知豪雨では、いち早く現場に駆けつけて災害状況を的確に把握し、団員という立場でありながら適切な指揮を執るとともに、自ら率先して洗掘箇所へ土嚢を積み上げるなどの応急措置を講じ、災害の抑止に貢献した。

さらに、南海トラフ地震に備え、地域で行われる自主防災組織主体の防災訓練や講習会に団員と共に積極的に参加するなど、地域防災力の向上に寄与した功績も大きい。